

YMCAとは

YMCA (Young Men's Christian Association) は世界120以上の国、地域に広がって活動する、世界最大の青少年団体です。

キリスト教主義に基づく青少年活動、社会教育活動、福祉活動、市民運動などを各地域において展開しています（活動に参加する人たちの国籍、宗教、性別などは一切問われていません）。

私たちのYMCA (YMCAアジア青少年センター <在日本韓国YMCA>) は、1906年に当時の東京在住朝鮮人留学生によって創立されました。

和解と共生に基づく「多文化共生社会」の実現を目指して働くことを目標に掲げ、アジアからの留学生を対象とした日本語教育、韓国語・中国語をはじめとする語学講座、文化教室、さまざまな国の子どもたちを対象としたキャンプ、世界各国の青少年を対象とした宿泊・研修施設の運営などの事業を行っています。

1919年2月8日に当時の留学生たちがYMCAで独立宣言をしました。3・1独立運動の導火線となり、中国の五・四運動をはじめ国内外の民族独立運動へとつながるものでした。その運動を記念して「2・8独立宣言記念資料室」を開設し、映画「2・8独立宣言」を作成しました。資料室は月から土曜日の午後1時から5時まで見学可能です。（前もってご予約下さい）



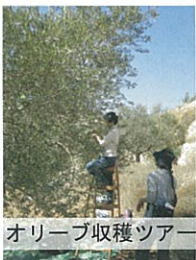
在日本韓国YMCA



2006年の創立100周年を機に、パレスチナで活動する東エルサレムYMCAとの定期的な交流をスタートさせました。パレスチナにおける和解と平和の実現を目指して行われている現地のプログラムに毎年参加者を派遣しています。



東エルサレムYMCA



オリーブ収穫ツアー

オリーブの木キャンペーン

パレスチナでは、長引く占領や攻撃により、およそ半数が失業状態となり厳しい生活水準に追い込まれ、500万人を超す人々が家を追われ難民となっています。

パレスチナのYMCAは、地域の全ての人々に開放され、攻撃により心と体に傷を負った人々のためにリハビリテーションセンターや職業訓練、心のケア、ユーススポーツセンターなどの運営を続けています。そして、世界に呼びかけ、オリーブの苗木を切実な平和への願いとして植樹する「オリーブの木キャンペーン」を行っています。募金一口3000円で東エルサレムYMCAのオリーブ植樹プログラムに寄付されます。春には植樹の、そして秋には収穫ツアーが行われています。

在日本韓国YMCAは日本のYMCAとともに、パレスチナの地に正義のある平和の実現を願い、世界のYMCAのネットワークを通じてこの活動を支援しています。

ワイズメンズクラブとは

ワイズメンズクラブは1920年米国オハイオ州トレドのYMCAで、会員増強運動の同志クラブとして発足。それが北米各地のYMCAに広がり、ワイズメン (Y's Men = Yの人) を共通の名称にしました。1922年、米国・カナダのクラブが集まって「ワイズメンズクラブ国際協会」を設立。以後、全世界にクラブが次々と生まれ、YMCAを支援し、Yと共に歩む運動(パートナー)として現在に至っています。日本では1928年大阪に最初のワイズメンズクラブが誕生し国際協会に加盟、2007年現在、全国に153のクラブがあり計3000人以上の男女会員とその家族が活動に参加しています。

ワイズメンズクラブは原則的にその町のYMCAを支援します。クラブの会員はYMCAの維持会員(協力会員)となるのがまず期待され、進んでYMCAの活動の担い手になって奉仕することが望まれます。クラブとして協力してYMCAのプログラムを応援することもあります。YMCAの若い専従指導者の研修に役立てる事業やクラブがその町の人々のために直接奉仕するコミュニティサービス、また国際的な組織ならではの事業も数多くあります。ワイズメンズクラブに入会されると、これらの事業が身近になり、クラブの楽しさを一層感じるようになるに違いありません。

2005年に在日本韓国YMCAを支援するクラブとして東京センテニアルYサービスクラブが設立されました。今回の映画祭をはじめさまざまな事業をYMCAと共に展開しています。毎月第2金曜日に宅話者を招き例会を行っています。どうぞご関心のある方はお気軽に例会にご参加ください。

東京センテニアルYサービスクラブ 会長 大申誠 onaka@o-plus.jp